

ヤマガタデジタルフオー  
山縣 鉄平さん



まちの「デジタルお困り事」に  
真摯に対応致します。

遠賀町出身の山縣さんは  
大学卒業後、長崎県でエンジ  
ニアとして働くうちに、パソ  
コンやスマートフォンで  
困っている方が多いのほ  
多いと感じ、Uターン起業を  
決意。PIPIT内のPオ  
フィスに入居し、昨年12月、  
デジタル何でも御用聞き屋  
さん「ヤマガタデジタルフオ  
ロー」を起業されました。  
ちよつとしたスマホ操作  
の疑問から、デジカメの設  
定・撮り方、自宅のネット  
ワークの構築まで、幅広いサ  
ポートで、地域のみなさまの  
助けになりたいと語ります。

おんが整骨院  
草野 清隆さん



遠賀町の温かさに感謝！

遠賀町遠賀川に昨年3月  
に開業された草野さんは、准  
看護師として働きながら夜  
間学校で理学療法士、柔道整  
復師の資格を取得されまし  
た。そして、もつと患者さん  
に寄り添い、個々の状態に  
あった治療を行いたいとの  
想いでおんが整骨院を開業  
されました。  
遠賀町民の方々に接し、町  
民の皆さんの温かさ、家族  
や大事な人を本院に紹介し  
ていただくことに日々感謝  
しており、遠賀町に開業し  
て本当によかったとのこと  
でした。

まちを覗けば  
あちこちにアクティブシニア！



巻頭特集【今こそアクティブシニア！】  
自分のために、社会のために  
～起業で輝く第三の人生～

遠賀町起業支援施設  
PIPIT機関誌

# ピース PIPIS

2018.March  
第2号

発行所/ピース編集部  
発行所/遠賀町起業支援施設 PIPIT

あなたのカナエルをカタチに

1月6日開催  
第2回 PIPITマルシェ **ぽっかぽか あったマルシェ**

アクセサリ、押し花ア  
ト、布小物や洋服などのハンド  
メイド作品の出店の他、屋外で  
は遠賀町の農産物を使用した  
鍋料理販売「おんが鍋開き」も  
あり、熱々の鴨クリームスープ、  
中華四川風火鍋おでん、野菜  
たっぷり豚汁が来場者をお腹  
の中から温めました。  
キッズスペースでは木のプ  
ルが大人気。クリエイティブな  
木育おもちゃや、小学生講師  
による本格折り紙講座は子ど  
もだけでなく大人も夢中。  
ハンドメイド作品がカブセル  
の中に入った遠賀町「おんが  
ちょう」のガチャポン「おんが  
ちよぼん」も大好評。

子どもからお年寄りまで多  
くの皆さまに楽しんでいただ  
きココロも体も温まる「あった  
マルシェ」となりました。  
出店者の方には、自分の作っ  
た商品が売れることの喜びや  
将来への可能性を感じて頂き  
ました。この経験を生かして起  
業につながることを期待してい  
ます。

発行所 遠賀町起業支援施設 PIPIT  
〒811-4307 福岡県遠賀郡遠賀町遠賀川一丁目6番5号

発行人 遠賀町  
【メール】 info@pipit-onga.jp  
【HP】 https://pipit-onga.jp/  
【Facebook】 https://www.facebook.com/pipit0932932616/

2018.March 第2号  
あなたのカナエルをカタチに



「今こそ  
アクティヴ  
シニア！」

# 自分のために、社会のために 〜起業で輝く第二の人生〜

定年して、時間ができた。  
趣味に走ろうと思ったが、思ったほどのめり込めない。というより  
むしろ、その気にならない。働いていたころにはあんなに欲しいと思  
っていたものが、なぜこうもどうでもよくなってきたのか…？

それは、いわゆる「張り合い」ではありませんか？まだまだ働け  
るのに、活躍できるのに、毎日を持って余しているなんて非常に  
もったいない。かと言って、また以前のように仕事に追われる生  
活もどうかと…。そして、また新しい組織に入ったとして馴染め  
るのか？自分の居場所はあるのか？何もそこまでしなくても…。  
一抹の不安がよぎります。

それなら、もつと悠々  
自適に働いてみては  
どうでしょう？

何も会社に属して働くこ  
とだけが働く方法ではあり  
ません。あなたができること  
をできる範囲で働くために、  
起業して新しい一歩を踏み  
出してみませんか？

社会構造や経済状況の変  
化で、社会には数多くの課題  
が発生し、変化を続けていま  
す。行政や民間でその変化や  
課題をとらえていても、ノウ  
ハウがなく利益を上げられ  
ないため断念したり、様々な  
事情で着手できないものを  
アクティブシニアだからこ  
そ取り組み、解決できるので  
はないでしょうか？

ビジネスという形で  
社会貢献  
〜わたしにもできる  
こと、わたしにしがで  
きないこと〜

自分の技術を  
次の世代に継承

家庭が一番、  
起業は二番、  
生活重視の働き方

長い間企業戦士として  
闘ってきたからこそ培った  
経験と技術。それを知らない  
世代に、人たちに継承しない  
のは、もったいない話です。  
昨今技術を持たない若者も  
増え、社会全体の技術も不安  
視されています。何も匠の技  
ばかりが技術ではありません  
。ものごとをきちんと伝え  
る表現力やそれによるコミュ  
ニケーション能力、そして、粘  
り強く努めること。それもま  
た、継承すべき技術です。  
まだまだ現役で活躍出来  
る方々の教授で、何を補った  
らよいか、足りないものを  
満たして行きましょう。

会社に勤めていたころは、  
仕事が一番、家事家庭は二の  
次ということもあつたかもし  
れません。仕事に追われ、家族  
に寄り添えぬ時間も多々あつ  
たかもしれません。悲しい思  
いもしたかもしれません。で  
も、もうそんなことを考える  
必要はありません。セカンド  
ライフは、自分のペースで、で  
きる範囲で。いつも利益を追  
求して、嫌な思いをして、自分  
を苦しめながらやるものでは  
ありません。  
まずは、自分の私生活と家  
庭を一番に、そして、その次  
にできる範囲で社会貢献とな  
るビジネスをして、有意義な時  
間を過ごしてみませんか？



## 遠賀の地から ジャズ文化を発信し続けたい

Jazz Cafe ラム館 店主 中溝 良則氏



ミュージシャンからも「音のひと  
つひとつが聴こえるいい音響の箱」  
と支持されている「Jazz Cafe ドラム  
館」のマスター中溝さんは、西部航空  
音楽隊 JASDF に所属し、ドラ  
マーとして活躍された元航空自衛  
隊三等空尉(なんと剣道七段!)。平  
成25年には瑞宝単光章を受章され  
ました。50代半ばで定年を迎える自  
衛官、退官後の先輩方の話を聞くに  
つれ「自分には『再就職』という選  
択肢は無い。」と確信。

「やるぞー後ろは向かん」と情  
熱のみで平成18年9月に遠賀川駅  
前で開店。最初の3年は大出費ばか  
りで、何度も止めようと思いまし  
たが「乗り越えるしかない!後には戻  
れない」との思いで続け、やがて5年  
ほど経った頃から「売り上げ」、より  
も「生きがい」と思うようになってい  
きました。  
「もしも店止めたら、朝起きて、何  
するんだらうね。」と微笑む中溝さ  
んからは、夫婦そろって自由に働い  
て、長年続けてきた音楽とともにあ  
り続ける幸福が見えます。現役ドラ  
マーでありながら、マスターとして、  
ミュージシャン選びやプログラムは  
もちろん、中溝さんが行います。「そ  
れがハマった時はね、プロデューサー  
冥利に尽きるよ。お客さんに感動を  
与えられた時は、お客さんの感動が  
こっちにも伝わって来るんだよね。」  
中溝さんの生き生きとした表情か  
ら音楽への想いが伝わってきます。  
「これからも遠賀の地からジャズ文  
化を発信し続けたい。」  
中溝さんが刻む第二の人生のリ  
ズムは、終わることのない4ビート  
でした。

## 起業は 「自分の創造性に対する自由さ」が 最高の喜び

夫婦手打ちそばやなせ 店主 梁瀬 龍弘氏



「サラリーマンは早く辞めて  
起業した方がいいよ。すごく楽  
しいし、全部自分でできるから。」  
と笑って話す梁瀬さんは、カル  
チャーセンターのそば打ち講座で  
師匠と出会い、習って3年で店を  
出すよう強く勧められ、無謀と思  
いつつも、遠賀町にはない本格的  
な手打ち蕎麦屋で「本物の蕎麦」を  
広めたいと50歳で開店。「これをや  
ろう!」という想い(創造性)を  
持った途端に起業にはばたく「自  
由の翼」が生えました。  
開店当時はIT企業のシステム

「創造性の世界は作り手の感性や  
意志が『作品』となります。どん  
な出汁、どんな蕎麦を作るのか、す  
べてを自分で決められる楽しい感  
覚の世界なのです。そして、これが  
最高の喜びです。」  
梁瀬さんは、蕎麦を遠賀に広げ  
るための技術の継承も惜しみませ  
ん。「やりたい人を集めてくれた  
ら、蕎麦のこと全部教えるよ。夢は  
『手打ち蕎麦の町遠賀町』。良い  
でしょう!!」梁瀬さんの  
自由の翼はその世界を  
広げ続けています。

エンジニアとの二足のわ  
らじで、朝6時に蕎麦を打  
ち出社、昼間の店は奥様  
が。18時退社後店へ直行し  
21時まで夫婦で営業、22時  
半過ぎに帰宅という生活  
を8年間続けました。  
当初は、全て自分で解  
決しなければならぬ暗  
中模索の日々。一つ一つ自  
分で切り拓いて行き、今  
年15周年を迎えました。





## 「起業」にココロが動いた あなたのための アクティヴスチエック！

起業したいと思っても、その想いの段階はまちまち。具体的に決まっている方、何をしたいかまだわからない方、次のポイントを、自分の中でひとつひとつ確認していきましょう。

### ❶ やりたいことは何か？

決まっていなければPIPIIT交流会やセミナーにヒントを探しに行きましょう！身近な地域の課題などにも起業のタネがたくさんあるかもしれません。

### ❷ ターゲット

飲食店やショップ等で起業する場合は、店舗の場所や営業時間は、ターゲットによって変わります。まずターゲットを決めましょう。

### ❸ 資金繰り

赤字では事業は成り立ちません。どう資金を確保するか、どのように使うのか、専門家に相談してみましょう。

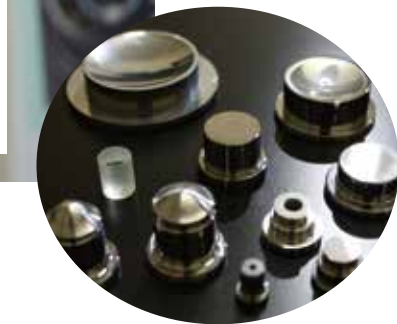
### ❹ 起業のための手続き

PIPIITでは個別の相談も行っています。法的な手続きなど、PIPIITで確認しましょう。



起業家クリスタル／先輩起業家の血と汗と涙の結晶に学ぶ！

## 『世の中に無い製品を創り、 ジャパンブランドを 発信していきたい』



平成21年経済産業省「元気なモノ作り中小企業300社」に選定、平成26年日本精密機械工業会「日本人の匠技モノづくりコンテスト」最優秀賞受賞、平成28年には特別賞を受賞。その卓越した技術に世界も注目している九州屈指の精密金型メーカー「株式会社ワークス」は遠賀町虫生津の静かな木立の中にあります。三重野氏に起業人としての血と汗と涙の「結晶」を語っていただきました。

**販売商社からメーカーへ**  
3年後、モノ作りをすることを決意。昼間は商社業務をこなし、夜間は自宅の倉庫に設置した機械で実験を繰り返す日々。そして、創業5年目、ついに金型メーカー「ワークス」が誕生しました。

しかし、トップメーカーへの道はそう平坦なものではなく、挫折も何度も味わいました。起業はしたものの、どこへ向かったら良いか分からなくなつた時もあり、そのような時は正しい仕事ができているか原点に戻って考えました。紆余曲折を経た三重野氏は「諦めなかつたら成功するしかない。そして、失敗こそ貴重な財産。」と諦めず続けることの大切さを語ります。

**「精密加工の技術」で世界へ**  
「生活が変化し、世の中が進歩発展して便利になるその分岐点には『精密加工の技術』が在る」と三重野氏は確信しています。

あるものにそのサイズのままその他の機能を持たせようとすると、自身をよりダウンサイジングし、精密にするしかありません。その生活を変える精密加工技術を新しいアイデアとともに極め、それを世界に展開することを目指しています。そして同じように、ものづくりに対し、ビジネスや哲学を持った人たちと「一緒に手を組み、更にその世界を広げ、世の中に無い製品を送り出して『ジャパンブランド』を発信することを思い描いています。三重野氏はそのために社内でも事業をいくつかに分け、若い社員に事業計画から交渉まで任せる「スモールカンパニー制度」を導入するなど、個人それぞれの持つアイデア実現のための経営感覚を養う人材育成にも力を入れています。

個人の力を信じ、その様々なアイデアと真剣な努力を、超精密製品に進化させ、まばゆい輝きを生み出す三重野氏の挑戦は今も続いています。

### 一度きりの人生、 チャレンジしてみたい！

大学卒業後、大手金型メーカーに入社。営業職として様々な会社や経営者を見て学ばれ、単にモノを売るだけでなく、製品を通して次のステージに向かうための「提案営業」も行ってきました。

33歳の時、溢れるアイデアを実際に事業で試みたいという想いで、11年勤務した会社を退職し、研削関連の機械工具販売商社「ワークス」を創業。サラリーマンから経営者へ転身されました。

### お客様が望む一歩先を示す

「一番のやりがいを感じるのには、お客様に喜んでもらった時。それを得るためにはありきたりの技術やサービスではダメ。『質や技術、サービスについて、お客様の期待以上の内容の提案をします。するとお客様は『こんなことまでやっているのか！』と感動し、ふくらむ期待感と信用が取引へと繋がります。三重野氏はこれからどういう方向に向かうか、どういうニーズがあるか、その更に一歩先にも視点を置き、業界の動きや技術の最先端情報を常にリサーチし、日々探求されています。



株式会社ワークス  
代表取締役 三重野 計滋氏

## 視察交流バスツアー 12月1日開催 「農の心を伝える場」 農産物直売所『ぶどう畑』(福岡市南区)

有限会社 ぶどう畑 代表取締役  
新開 玉子氏



新開氏は、ぶどう農家に嫁ぎ、40代初め、「単に農産物を販売するだけでなく『農の心』を消費者に伝える『交流の拠点としての直売所』を作りたい！」という夢を抱かれました。資金作りのため仲間と野菜や果物をトラック等で販売、時間をかけて家族を説得し協力を得て、平成11年、公共の助成を一切受けず女性仲間6人の共同出資で有限会社を作り、54歳で12年越しの想いを実現されました。出来るまでは本当に苦しかったが、開店してからはそれ以上に楽しかったとのこと。

農業の衰退を食い止めるため、女性にもっと農業に参入して欲しいと願う新開氏は「素人が始めやすいのは天候の影響が少ない」と、

「ハウス栽培。働くママ3〜4人いれば空き時間、間にストレスなく経営できる。自分たちに難しいパソコンや運転等は定年した男性や得意な人に任せればいい。」と経営のヒントを語ります。また、女性が輝くためには、3つの物「技術」「お金（を貯めなさい）」「心（忍耐力）」とアドバイス。参加されたのは、町内でカフェを営む方、就農された女性など農との連携に関心が高い方が多く、明るく元気いっぱい輝く笑顔の新開氏の言葉に触発され「元気をもらった！これから何か始めよう！」と、予想以上のパワーに交流も深まりました。参加された方々の今後の展開も楽しみです。





賀町で  
遠く起  
業しよう!!

## 第2回 おんが町起業家アカデミー (全4回)

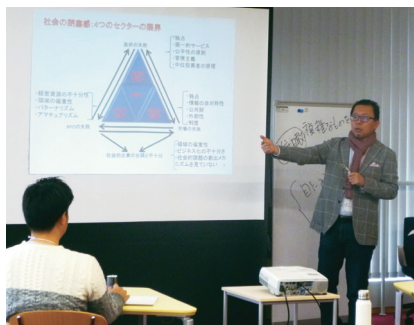
1限目 12月2日 午前開催

次代が求める起業家とは、いい会社とは、  
そしてその創り方

京都産業大学経営学部 教授 大室悦賀氏

平成27年国連総会で採  
択、2030年までに達成  
する持続可能な開発目標  
「SDGs」をどう解決してい  
くか、世界の潮流を学びま  
した。

講義では、イノベーション  
に必要なこととして、課題を  
ある側面からだけの単純な  
ものにせず、複雑なまま捉え  
て起業につなげることを注  
意してグループワークを行  
い、そして創業について考  
え、経営理念を創りました。  
「起業とは自分の生き方  
を考えることです。ビジョ  
ン、哲学、そして行動基準を  
簡条書きにしましょう。地  
球の外から眺める感覚で、



抽象度を上げてください。」  
経営理念を創るポイントと  
して、次の事をあげていた  
できました。

一、起業しようと思った動機は？  
一、どの様な体験から派生？  
一、譲れないポイントは何？  
一、意思決定の軸になるものは？

2限目 12月2日 午後開催

マーケティングとクラウドファンディング

クラウドファンディング総合研究所  
所長 板越ジョージ氏

クラウド＝Crowd(群衆)

ファンディング＝Funding(資金調達)

とは、インターネットを通し  
て、不特定多数からお金を  
集める仕組みを言います。投  
資商品と誤解されている方  
がいますが、資金集めより、  
マーケティングツールとして

の側面が強く、講義では多  
くの事例を基に、マーケティ  
ングについて学ぶことができ  
ました。

また参加者でグループ  
ワークを行い、実際、クラウ  
ドファンディングをかけられ  
るまでにほぼ完成した事案  
も作成できました。

更に、受講がきっかけで、  
参加者の中から、クラウド



ファンディングのコンサルティ  
ング業務を開始された方も  
います。

遠賀町からクラウドファ  
ンディングビジネスが多く  
輩出されることが期待さ  
れます。

3限目 12月9日 午前開催

ビジネスに使える  
スマホ活用術

BRIDGE合同会社 代表者 石橋浩二氏

石橋氏は平成26年に地域  
おこし協力隊として大分県  
臼杵市へ移住、スマホを活  
用したまちづくりイベント  
を多く開催されました。

ポケモンGOが流行す  
る1年前からスマホと位  
置情報を用いた着地型観  
光のイベントは、市内外か  
ら多くの参加者を集めま  
した。また、行政から依頼  
されたスマホを用いた婚  
活イベントはあつという  
間に定員に達し、急遽、増  
員したそうです。

現在、故郷である朝倉市



の被害により農作物が作れ  
なくなつた畑で、「島らっ  
きようプロジェクト」を進  
めています。このプロジェ  
クトでも、スマホを使い、  
フェイスブックで投稿した  
だけで、支援者が増えたそ  
うです。

また、スマホで情報発信  
することで、地方TV局の  
取材が入り、そこから拡散  
され、大きなうねりとなつ  
て、朝倉の名物になりつつ  
あります。

情報発信の重要性を知る  
ことが出来た講義でした。

4限目 12月9日 午後開催

社長BOKIゲームで学ぶ  
会社経営と決算とは？

Asサポート 代表 下釜綾子氏

事業を行う上で切っても  
切り離せない「簿記・会計」  
について学びました。

難しいと思われる会計で  
すが、「社長BOKIゲーム」  
という経営の体験をしなが  
ら帳簿を書き、決算書を作  
り上げるというゲームで簡単  
に学ぶことができました。

ゲームの中では、仕入や販  
売、時に盗難などの予期し  
ないアクシデントもありな  
がらも、自身で考え決定し  
ながら運営していきます。



ゲーム後は、会社の1年  
の活動を記録する会計の必  
要性と決算書の重要性、「貸  
借対照表・損益計算書」の  
基礎知識を学び、さらに採  
算がとれる売上などの損益  
分岐点などの計算をとて  
わかりやすく解説してい  
たきました。

あつという間の3時間で

「あんなに苦手だった会計  
がこんなに簡単だと思わ  
なかった」などと嬉しい声も  
いただきました。

名刺・プロフィール・  
チラシ・ブログ作成の  
ツボ講座及び相談会  
(11月29日開催)

日本名刺協会理事  
「仕事が取れる名刺」の専門家  
福田剛大氏

昼間に、個別・公開相談会を、夜間は講  
座を実施しました。

相談会では、相談者ご自身の課題を福  
田氏がアドバイスし、また、講座では、起  
業に必要な名刺やプロフィールなどの重要性  
について多角的に福田氏にお話しした  
き、その後実際に作成する際のツボにつ  
いて学びました。

「名刺、チラシ、ブログは、あなたに代  
つて、あなたの営業をしてくれる営業マン！  
その営業マンに、自分の顔写真や会話の  
きっかけとなるような気になる小さな情  
報等も持たせましょう。」

福田氏から、数々の具体的な方法が伝  
授され、受講者からも「目からウロコの講  
座でした！」と  
好評で、学んだ  
ことを生かし  
て、名刺を作り  
直された受講  
者もいるほど、  
名刺を見直す  
良い機会にな  
りました。



専門家によるSNS概論及び個  
別相談会(1月25日開催)

株式会社よつば  
代表取締役 神岡芳徳氏



ビジネスに有効  
な「SNS(ソーシャル  
ネットワークキン  
グ・サービス)」の活  
用法セミナー及び、  
参加者の質問に答  
える形の公開・個別  
相談会を実施しま  
した。講座では、インスタグラム、フェイス  
ブック、LINE、YouTube等の各  
SNSの特性と具体的な活用方法、各自  
のビジネスターゲットに合うSNSツ  
ールの使い分けや複合的使用で効果をあげ  
る方法を学びました。

また、「日々の投稿の蓄積が、必ず成功  
に繋がります。」との神岡氏の言葉のお  
り、HPのみでは補えない部分を、SNS  
の地道な投稿等による能動的な情報発  
信で、より多くの顧客からのアクセスを  
得て、多額の広告経費を払うことなく効  
果的な広告が行えることも学びました。  
個別相談を受けた方で、早速習ったS  
NSを活用し新規顧客を獲得できたとい  
う声もありました。



9月27日開催

第3回 遠賀町起業支援セミナー

遠賀町の日本一企業に学ぶ 第三弾

『釣りを科学して需要創造!』

株式会社釣研は、メジナという魚を釣るための道具を製作する、日本のウキのシェア40%を占めるトップメーカーです。「世界で一番魚が釣れるウキを創る!」をミッションに掲げ、性能は他の材質では出せない一方、製品にばらつきが出やすい木材にこだわらず、技術の向上とデータの蓄積により、品質を確保し続けてきました。約30年前、一般的なウキは1個70円でしたが、魚が餌を食べたことを浮力で知らせるだけだったウキの機能に、潮で遠くに流す・



株式会社釣研 前代表取締役社長 楠根 丈司氏

仕掛けを飛ばす・ポイントに運ぶ・小さなアタリをとらえる高感度、厳密な浮力等といった優れた機能・付加価値をつけ「釣れるウキ」を作った結果、現在の売れ筋の「釣研ブランドウキ」は、1,600円と20倍以上になっています。ウキに付加価値を付けた以降、それを使う熱狂的なファンや磯釣りのスターの育成を図り、コアな市場を作って、「磯釣り上級者」が使う「釣研ブランド」が確立されました。

釣り人にとって製品を持つ喜びはもちろん、会社のスタッフにも製品を作る喜びをもたらしたそうです。「釣研ブランド」がこれからも日本一のシェアを誇る遠賀町発のブランドとして、ご活躍されていくことを確信したセミナーでした。



釣研ブランドの海釣りウキ

1月21日開催

第5回 遠賀町起業支援セミナー

人と人をつなぐ未来づくり

～商店街活性化への挑戦と軌跡～

木藤氏はかつてシャッター街だった宮崎県日南市油津商店街の再生事業に取り組み、「4年間で20店舗の新規出店を実現する」というミッションをかかげ、カフェ、ゲストハウス、IT企業、保育園、これまで商店街にはない新しい業態も含め、見事に29の新規出店を実現されました。商店街再生といえは、補助金などを使っていかに店舗を誘致するかという



株式会社油津応援団 取締役 元日南市油津商店街テナントミックスサポートマネージャー 木藤 亮太氏

発想になりがちですが、起業家を支援するようなアプローチをしました。木藤氏は言われます、「覚悟を決めると応援する人材が集まる」と。株式会社油津応援団は、木藤氏自らリスクを負って、3人で30万円ずつ出資、さらに銀行から借入れをして拠点を整備。すると、周りから応援者が集まり、現在1,800万円の資本金でまちづくり事業を行っています。

様々なイベントを通じて、若者たちを始めとした地元の人たちが自らのアイデアで次々にチャレンジを始め、応援の連鎖で商店街に人が集まってきました。「油津商店街に行けば、やりたいことが実現する。」そういう何か期待させるような空気が、商店街再生の大きな原動力になっています。

起業家や起業を希望している方々の支援のために開催している「遠賀町起業支援セミナー」。今年度後半は、(株)東京商工リサーチが選ぶ、遠賀町にある「日本一企業」の役員をはじめ4回のセミナーを開催しました。

11月23日開催

遠賀町発!世界で活躍する起業家になろう!  
遠賀町起業支援セミナー

基調講演

『映画で人を、地域を、世界をつなぎ社会課題を解決! ~ユニテッドピープルの社会変革への挑戦~』

ユニテッドピープル株式会社 代表取締役 関根 健次氏



「爆弾の技術者になって、たくさん敵を殺したい。」エルサレム・ガザ地区で出会った少年にこう言われ、衝撃を受け「子どもが子どもらしい夢を語れる、戦争のない世界を実現したい。」と強く思ったことが起業の原点となりました。関根氏は、起業への想いを抱きながらもIT企業で働き続け、ある時過労で倒れた際「もし、残された時間が90日なら、何をやるだろう?」もし、自分に充分なお金があったら...?と自問自答。そして、26歳で起業し、募金サイト『イーココロ!』をスタートしました。が、当初は苦戦。他の事業をしながら事業を続け、先輩経営者の方々のお陰で多くの募金が集まるサイトに大

躍進しました。しかし、募金だけでは世界は変わらないことに気づき、世界で起こっている多くの問題を映画で知ること、その解決方法を考えるキッカケになるのではないかと映画配給事業にたどり着きました。基調講演後は、その映画のひとつ、食品ロスを取り扱った『0円キッチン』を上映。またひとつ社会問題を提起しました。その後、同じく世界を舞台に活躍するスリーアールシステム株式会社代表取締役社長今村陽一氏を迎えてのトークセッション。両氏の体験談と哲学、そして熱い志が、起業を目指す方々の心に響くセミナーとなりました。



(C)Mischief Films

1月20日開催

第4回 遠賀町起業支援セミナー

次代を見抜き自ら変身!

～サラ忍マンは共感の連鎖をつくり 行動を起こす『歩く広告塔』!～

サラ忍マン くのいちOL娘。



今回は遠賀町商工会賀詞交歓会と共催で、福岡市を拠点に、商品の広報を行うお二人に講演いただきました。元々、IT企業のサラリーマンとOLだったお二人。脱サラ後「サラ忍マン・くのいちOL娘」として起業し、フェイスペインクを使いサラリーマンの哀愁を発信して全国のサラリーマンや経営者から共感を呼び、多くのメディアにも取り上げられることになりました。現在、福岡県の伝統工芸品PR隊長としても活躍。お二人の衣装は、伝統工芸品を使用されており、まさに「歩く広告塔」となっています。これまで、企業とのコラボ実績90社以上。多くの企画製品を世に出しながら、飲酒運転撲滅啓発活動、ことも虐待防止PR活動など社会貢献活動も行っています。お二人の活躍の話は愉快で楽しく、会場は新春の晴れの舞台にふさわしく笑いに満たされていました。





起業家や起業を希望している方など人と人のネットワーク作り、情報交換を行う場として、毎月1回交流会を開催しています。交流会では、数名の方にビジネスプランを発表していただき、その後意見交換・情報交換を行います。

9月20日開催

## 第6回 PIPIT交流会 未来・人とつながるものづくり

●矢野 眞由美さん(松山糧復活委員会)  
●崎山 香王里さん(NPO法人 アートもん 代表理事)

女性起業家2名による発表と「ものづくり」ワークショップを行いました。矢野さんは久留米の地域資源『松山糧(はぜ)』保存・継承活動について、崎山さんは特技『アート』を生かした人と人をつなぐイベント活動について話してくださいました。



遠賀菜種油を使ったオリジナル石鹸作り  
写真や手書きイラストを使ったスタンプ作り

### ♫のポイント

- NPO法人格取得  
メリット：法人住民税免除になる場合があり、助成金申請もスムーズに行える。  
デメリット：毎年の事業報告書作成や、役員の登記変更届などの手間がかかる。

11月15日開催

## 第8回 PIPIT交流会 遠賀町ではじめるフードビジネス

- 高橋 義和さん(ジモカフェ)
- 峰 幸一さん(ハナオコーヒー)
- 塚本 基樹さん(HASAMIYA)

遠賀郡でフードビジネスを展開されている3名に発表していただきました。起業のきっかけや、メニューへのこだわり、地元への想いが詰まったお話でした。交流会では、「遠賀でしかできないことをやっていきたい」「遠賀を盛り上げていこう!」と時の経つのも忘れ、熱い意見交換が行われました。



### ♫のポイント

- コンセプトを持つ。
- ブランディングが重要。
- 起業のきっかけや初心を忘るべからず。

10月20日開催

## 第7回 PIPIT交流会 若者が仕掛ける スポーツ・安全安心ビジネス

- 立花 ゆうへいさん(NPO法人 改革プロジェクト 代表)
- 伊藤 一哉さん(ルートプラス 代表)

2名の若き起業家にビジネスプランを発表していただきました。スポーツ系の大学出身者による子どもスポーツ教室や、ランニングを防犯に生かす新しい形の安全安心ビジネス「パトラン」など、スポーツビジネスについて説明していただきました。



### ♫のポイント

- ネーミングはシンプルにして、商標登録する。
- 常に様々なアンテナを張っておく。

12月13日開催

## 第9回 PIPIT交流会 多様化する農ビジネス

- 白仁田 裕二さん(ファインフーズサービス株式会社 代表取締役/おなか元気ぐるーぷ 代表/おなか元気園 代表)
- 上田 浩司さん(社会福祉法人さつき会、はまゆうワークセンター施設長)
- 筋田 晃司さん(合同会社 筋田農園 代表社員)

「農業」の枠に収まらず、食や農業と福祉の連携など、多様化したビジネスを展開しておられる2名、そして遠賀町で農業を実践しておられる1名に発表していただきました。



### ♫のポイント

- 農ビジネスをはじめる際に、先に取り先を決定するとスムーズな経営ができる。
- 障がい者を「助ける」から、「輝かす」取り組みに。

1月17日開催

## 第10回 PIPIT交流会 起業家映画上映会『台北カフェ・ストーリー』

新年初となる記念すべき第10回目のPIPIT交流会は、cafe cinémaとの共催による起業家映画の上映会。起業を身近に感じられる映画として、台北の姉妹が念願のカフェをオープンする物語を上映しました。



©台北カフェ・ストーリー

# 第2回 遠賀町ビジネスプラン・夢アイデアコンテスト

応募総数26件  
第2次審査会(12月27日開催)  
表彰式(1月20日開催)

たくさんのご応募をいただきありがとうございました。応募頂いたビジネスプランの中から厳正なる審査の結果、5組の受賞者が決定し、一月に行われた遠賀町商工会賀詞交換会において、表彰式を行いました。

### 特別賞

遠賀町産農産物を愛する町長賞  
有松 位さん(株式会社そったく)

プラン名

『遠賀川銘菓プロジェクトⅠ』  
『PIPITスマールオフィスからの挑戦』

「米粉」使用の和菓子を製作、遠賀川駅周辺で販売するというプロジェクト。商品のテーマとして「遠賀の昔話」をモチーフとする。また、通常の販売促進活動以外に、知名度を上げる戦略として遠賀町を舞台とした「ライトノベル」を出版するというプラン。

まだまだ元気アクティブシニア賞

徳王 昭子さん

柴田 雅子さん

柴田 ヤス子さん

プラン名

『急な残業でも安心!』  
『おたすけ! 晩ごはん!』

仕事や急な外出などで忙しく夕飯を作れない人たちのための、遠賀町内の飲食店と連携した夕食の予約型テイクアウトサービスを行うというプラン。

第2次審査会の様子



グランプリ  
柴田 敬子さん

プラン名

『自然豊かな遠賀町に遠くからでも訪れたいくなるハープ園を作る』

遠賀町の自然豊かな場所にある農地にログハウスを建て、遠くからでも観光客が訪れ写真を撮りたくなるようなハープ園を作り、毎月定期的にハープアロマ教室を開催。遠賀町の農産物も販売するというプラン。

子育てママの  
ちよこっとビジネスプラン賞

中村 佐知子さん

プラン名

『まあ、おいしい!』みんなの学校』

資格はないが料理が得意な一般のシニアが講師となって料理教室を展開する。材料は遠賀町産を主に活用するというプラン。



遠賀町商工会 賀詞交換会でのプレゼンテーション

cafe coba + 土曜日  
井出 まりこさん

cafe cinéma 代表  
久保山 武さん